

新山協ニュース

▲ 発行者 井出秀雄 ▲ 発行所 新潟県山岳協会
〒940 長岡市学校町3-11-7 藤井 信方 TEL 0258-32-4835



副会長をおおせつかつて

新潟県山岳協会副会長

平田 大 六

新潟県山岳協会の副会長という大役をおおせつかり身に余る責任を感じております。

一九八九年以来、理事長を務めさせていただきました。理事長時代には、加盟団体のみなさん方にお世話さまになりました。理事長という立場で、いろいろなおことをお願いしたり、勝手なことを申しあげたり、あるいは何とかお許しいただいたり、ご迷惑のかけようでした。

それぞれ委員会を分担していくことになりました。副会長といつても所詮は山登りを趣味・道楽としている一人です。藤井信会長を補佐してまいりたいと思っておりますので、一層のご指導をお願いいたします。

理事長に就任して

新潟県山岳協合理事長

井出 秀 雄

晴天の霹靂とはこのことでしようか、よもや私に理事長の話が出ようとは思っておりませんでした。平田大六氏の後任をとのお話でしたが、基よりお受けする気持ちなごまごまありませんでした。

しかし、鈴木敏雄前協会長の意向や、県内における役員のパランス等もお考えの上での話でした。固辞し続けるうちにも話は進み、お受けする以外に道は閉ざされていることを知りました。

受けた以上は泣き言も言っておれません。幸いにも藤井信協会長をはじめ、旧知の先輩諸氏、岳兄氏も多く居られ、その方々のお力をお借りしながら精一杯勤める考えです。

このように相反する問題が今後の大きなテーマの一つになると考えます。藤井信協会長も「新山協は加盟団体とその所属する会員のものである」と、「……言い変えるならば山積みする問題は加盟団体の知恵と努力で解決できると考えています。

新しい理事長の井出秀雄（映彩山岳会）氏は立派な人格者でありますので、きっとみなさんの期待にこたえてくれると思っております。

すべてに有能であられた平田氏の後任を、無知無能な私ではあまりにも重任であり、身の引き締まる思いと、理事長の任が勤まるのかという不安で一杯のスタートです。

今後は大きく変わることは考えられませんが、これ以上仕事を増やすことは避けなければいけないと考えています。もう一つ、例えるならば、中高年令登山者の急増にともなって事故も後を断ちません。益々山岳協会に期待の集まる場所でもあります。それに比べられるか否かは、各加盟団体の基盤の強化が急務でありましょう。現状は甚だ心もとないというところではないでしょうか。若い人の入会を促すとともに、後継者の育成がなにより大切に思えてなりません。

私も微力ながら新山協の発展向上のお役に立てれば幸いと考えています。さて、新前の理事長ですが、協会員のみならず皆様方のご理解とご指導のほどを重ねてお願いを致しまして挨拶とさせていただきます。

山岳遭難と法的責任

長岡ハイキングクラブ

土田 幸雄

『聖職の碑』(新田次郎

昭和51年講談社)を読まれた

方も多いと思うが、これは大

正12年8月中央アルプスの名

峰、木曾駒ヶ岳で起きた山岳

遭難事故を描いた作品である。

長野県の中箕輪尋常高等小

学校では、この年も恒例となっ

ている木曾駒ヶ岳集団登山を

行った。

校長先生はじめ、教師3、

生徒25、付添の青年8の、一

行37名。飯田測候所に何度も

確認した上での登山だったが

当時の気象技術では予想不可

能だった今でいう草駈天台風

に見舞われ、また、避難小屋

が倒壊していたというアクシ

デントも重なって、11名(校

長、教師1、生徒9)の犠牲

者を出すという未曾有の山岳

遭難となった。

遭難現場で励まし合う状況、

師弟愛、校長の責任感、次々

と力尽きてしまう様子など、

異常時の極限の状況がある

いは救援に駆けつけた村人や

家族の心情が赤裸々に描かれ

この場面は涙なしでは読めな

い。まさに傑作であろう。

新田次郎は遭難原因として、

①案内人を連れて行かなかつ

たこと、②責任者が下見登山

をしなかったこと、③遭難小

屋が無くなっていったのを知っ

た時の処置の誤り、という3

点を挙げている。

この事件でもそうだったし、

戦後稀にみる大きな山の悲劇

と言われた昭和29年11月28日

の富士山の雪崩による遭難事

故をはじめ、数多くの山岳遭

難についても、その企画、立

案、あるいはリーダーの法的

責任が問われるなどというこ

とは、長い間だれも考えもし

なかつた。

そもそも「登山という行動

には、前もって事故が起こる

かもしれない危険が存在して

いる。それをお互いが認めあ

つての上で行動するのだから、

たとえ事故があつたとしても

どちらにも責任はない。後で

その責任を追及するくらいな

ら、登山などしなければいい

のだ。」(小島六郎『山岳遭難』)

つまり、探検を起源とする

登山は本来、自己責任行為と

いうのが極めて常識的な考え

方だった。

ところが近年、山岳遭難で

も訴訟事件が続発し、主催者

やリーダーの法的責任が問わ

れる時代になってきた。

昭和52年3月春休みに、都

立航空高専山岳部員が、この

『聖職の碑』の木曾駒ヶ岳で

雪崩に巻き込まれ、10名中、

7名が犠牲となった。

この遭難事故を巡って遺族

から、東京都及び引率教官の

責任を追及する訴訟が提起さ

れ、平成2年3月、最高裁で

遺族勝訴の判断が示された。

この最高裁判決は、「山岳

遭難事故における法的責任の

あり方」について指針を示し

たものとして、色々な意味で

山岳関係者に注目され、また

冗談話とはいえ「うかつに山

には連れて行けないぞ」と、

微妙な空気を醸し出したのも

事実である。

この訴訟の争点は、第1に

天候の回復を待つべきだった

こと、第2に下山ルートを選

択を誤つたこと、第3に雪崩

に対する注意が不十分だった

協会創立50周年記念

特別事業募金のお願

副会長 平田 大 六

50周年記念特別事業は次の

三つの事業が計画されていま

す。

(1)記念式典

(2)記念山行

①県内 蒜場山

10/18~10/19

②海外 中国チアジャジ

マ峰

7/26~8/23

(3)記念誌(協会50年史)の

発行

ことで、いずれも遺族側の主

張が認められた。

『聖職の碑』の生存者が、

新田次郎に「自分の命を投げ

出しても教え子を助けようとし

た先生のおかげで私の今日が

ある。あの頃の先生は本当に

子供たちのことを思っていて

くれたものだ。」と語っている

が、これが若し訴訟にでもな

っていたら『聖職の碑』も世に

出ることにはなかつただろう。

夏目漱石ではないが、とか

く山の世界も住みにくくな

ってきたようである。

今回の募金は主として前記

の①②の海外登山を対象に

したいと考えています。

海外登山隊は、本協会藤井

信会長を隊長とし、十数人の

隊員が決定しております。隊

長が5月に約二週間の日程で

現地調査に向いており、隊

一同精力的に準備活動をつづ

けているところであります。

すべての隊員の自費で計画さ

れています。

このような現状ですので、

左記のような方法にて募金を

お願いいたします。藤井信隊

長は本協会の会長ですので、

私副会長平田大六が発起人代

表にさせていただきます。

記

募金額 一口 五〇〇〇円

なるべく二口以上

送金方法

郵便振替

〇〇六五〇一六一二〇三四

平田大六

岩船関川村小見三三七

振込料も負担願います。

期限 七月一五日

常務理事会報告

チアジャツマ峰
(五、九三〇m)

日時 97年6月14日
13時〜15時

会場 新潟市万代市民会館

出席 藤井信・今成幸夫・平田大六・土田幸雄・橋本正己・井出秀雄・杉本敏・坂井厚・阿部信一・片桐一夫・田辺信行・山田智子・遠藤家之進正和

議題

〔1〕協会創立50周年記念事業の役割分担

①記念式典

実行責任者 田辺信行

期日 平成10年1月18日

会場 長岡・会費等内容を踏え今後早急に検討し案内することとなった。

②記念山行

○県内

実行責任者 五十嵐篤雄

期日 平成9年10月18日

期日 19日

会場 蒜場山(一、三六三m)

加治川ダムより

○海外

実行責任者 藤井 信

期日 平成9年7月26日

8月23日

会場 中国青海省

③記念誌の発行

実行責任者 鈴木敏雄

〔2〕第19回新潟北信越国体について

責任者 森 庄一

期日 平成10年7月24日(金)

26日(日)

会場 糸魚川市

審判長

各県及び関係機関への周知のため、縦走・踏査・クラ

イミングの実行責任者、会場、事務局について確認を行い早急に準備体制を整えることとなった。

〔3〕旅費支給内規について

日山協・文部省等の総会、各種研修会、国体等への出席のための旅費については支給人数の制限を設け、原則として実費を支給することとし、県内は支給しないこととした。

〔4〕第18回福井北信越国体の支援体制について

期日 平成9年7月25日

27日

責任者の平田氏が協会役員、国体委員会、平成10年北信越国体準備委員、派遣審団の出席を確認し支援体制を

整えることとなった。
〔5〕分担金未納加盟団体の除名について
現時点で該当する団体には理事長が対応し、今後は督促状を発送し、1〜2年を限度とし除名する方針を確立する。

〔6〕協会創立50周年記念事業に伴うカンパについて
平田氏が発起人となって募金を行うこととなり、7月15日まで行っていますので多数のご協力をお願いします。

〔7〕第24回自然保護研修会報告について
5月24日〜25日に23名の参加で五頭山麓で筑木氏の講演、雨天のためマンダロク山を中止し、三川の將軍杉、津川の狐の塚入館見学の報告があった。

〔8〕日山協総会報告について
5月25日東京にて開催され藤井協会長が出席し、分担金の値上げが承認されたこと、特に第57回高知国体より少年男子にクライミング競技を導入することを開催県として宣言したとのこと。

カムチャッカの高山植物 ①

むささび会 加藤 明文

ハハコヨモギ (キク科)

分布：日本 東北アジア

千島 アラスカ



日本では南アルプスの一部と中央アルプスに生育する。カムチャッカはトルバチョク山のベース(ウルナホドナヤ)付近の岩場に苔類と共に咲いていた。

北方系の植物なのになぜ日本では北海道や東北を飛び越えて南アルプスなのか疑問があってもおもしろい。大雪山にはエゾハハコヨモギがあり、これは綿毛が多くカムチャッカのナガエハハコヨモギをお母さんとする変種で別物になる。

ハハコとはホオケル→ハハケル→ハハコ……との説もある。

花の色：淡黄(日本産は白に近い)

専門委員会と委員名

委員会	委員長	副委員長	委員
総務	田辺信行	渡辺富衛 七沢恭四郎	五十嵐昇、山田智子、土田幸雄、谷中隆明
指導技術	阿部信一	三富一弥 井村健一	安野正弘、森田 健、吉田光二、小林重一、 本望英紀、大桃祐司
国体	森 庄一	稲田春男 安野正弘 高橋一郎 飯沼 聡	山田智子、佐々木敏郎、片桐一夫、草間雄一、 渡辺正之、佐藤照夫
自然保護	七沢恭四郎	本間一人	清水迪男、堀井 浩、遠山 実、下條莊市、 筑木 力、小林重弘、山本隼人
遭難対策	小林由夫	谷中隆明 楡井利幸	遠山 実、高橋賢吉、田沢康直、桜井伊佐次、 入沢藤夫、三富一弥、小田幸雄、藤田善思
クライミング	稲田春男		
中高年登山	坂井厚	中村武雄	加藤記代子、佐々木敏郎
海外登山	片桐一夫	東樹義夫	稲田清二、田中純夫、半谷高紀、加藤いづみ
婦人	山田智子	加藤レイ子 藤田朋子	一橋史子
会報	遠藤 家之進正和	北村 猛 横山征平	土田幸雄、柏合哲郎
資格会費係	土田幸雄	五十嵐 昇	安野正弘、山田智子、本間一人

平成9年度7・8月専門委員会行事予定

日時	行事名	会場	担当
7.9~10	全国山岳遭難対策協議会	仙台	遭難対策
7.13	テーピング実技講習会 新潟市	万代市民会館	遭難対策
7.25~27	第18回北信越国体	福井県	国体
7.26~8.23	チアジャジマ峰(曲阿加吉瑪峰)5930m メコン河源流	中国	50周年事業
8.13~	第52回大阪国体合宿	大阪府	国体

日山協・文部省登山研修所等7・8月行事予定

日時	行事名	会場	担当
7.14~18	山岳遭難救助研修会(夏山)	雑穀谷	(文)登山研
7.12~13	Sクライミング講習会(日山協)	丹沢山塊	日山協
7.23~24	第39回自然公園大会		
7.31~8.4	高校・高専登山指導者夏山研修会(夏山)	剱岳	(文)登山研
7.31~8.4	岩登り講習会	剱岳	(文)登山研
8.4~8	高校総体登山大会	京都芦生	日山協
8.18~8.21	集団登山指導者研修会(夏山)	立山周辺	(文)登山研

登山用品専門店

— 信頼できるパートナー —

大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736

登山・アウトドアの専門店


ICI 石井スポーツ
新潟駅前店

新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)